

ベトナム洋上ランドン油田におけるCO₂-EORパイロットテスト 石油技術協会業績賞を受賞

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:河野博文)およびJX日鉱日石開発株式会社(本社:東京都千代田区、社長:平井茂雄、以下「JX開発」)は、第78回石油技術協会定時総会において、ベトナム国営石油会社(Vietnam Oil and Gas Group:Petrovietnam、President and CEO:Do Van Hau)と共同で実施したベトナム洋上油田におけるCO₂-EORパイロットテストの成果に対し、石油技術協会業績賞を受賞しました。

JOGMECとJX開発は、ベトナム国営石油会社と共同で、ベトナム洋上油田を対象としたCO₂-EOR(二酸化炭素圧入による石油増進回収技術、Enhanced Oil Recoveryの略)適用研究を2007年から開始しましたが、日本ベトナム石油株式会社[※](Japan Vietnam Petroleum Co. Ltd.、社長:和佐田演慎、以下「JVPC」)がベトナム洋上で操業する15-2鉱区のランドン油田を対象としたCO₂-EORパイロットテストを2011年5月から6月にかけて実施し、成功裏に終了しました。

洋上テスト実施後、詳細なデータ分析およびテスト結果の解析を実施し、CO₂圧入による油層流体性状の変化、坑井近傍の油飽和率の減少および油の粘性降下等により期待された増産効果が十分に確認され、ランドン油田におけるCO₂-EORの有効性が実証されました。

このCO₂-EORパイロットテストの成果に対し、6月25日(火)、都内で開催された第78回石油技術協会定時総会において、石油技術協会業績賞を受賞しました。



左から順に、論説賞の加藤JOGMEC職員、業績賞の辻JOGMEC理事、石本JX開発技術部長、山本石油技術協会会長(写真提供石油技術協会)



テスト最終報告会時 集合写真

CO₂-EORは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を地中に貯蔵するとともに石油の増進回収も可能にする、極めて有効な手段です。

JOGMECおよびJX開発は、引き続き日本のエネルギーの安定供給と地球環境保全との調和の実現に向けて取り組んでまいります。

※ JVPCは、JX開発が97.1%出資する子会社です。

JVPCは、オペレーターとして、パートナーのConocoPhillips (U.K.) Gama LimitedおよびPetrovietnam Exploration Production Corporationと共に、15-2鉱区において油ガスを生産しています。

■業績賞

業績名「ベトナム・ランドン油田におけるCO₂-EORパイロットテスト」

受賞者 JOGMEC, JX開発

■問合せ先

JOGMEC: 技術部 EOR課 高橋 TEL. 043-276-4402

: 総務部 広報課 西川 TEL. 03-6758-8106

JX日鉱日石開発(株): 総務部総務グループ TEL. 03-6275-5241